

課題の改善に向けた教育委員会の取組について

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえ、教育委員会は、相模原の児童生徒の学習状況の改善、学力の向上に向けて、次の視点に重点をおいて取り組みます。

1 授業改善の推進及び教職員の授業力の向上

「見通す・振り返る」学習活動の重視

「見通す・振り返る」学習活動を重視することが、学力の向上に向けて有効であることが本調査から分かっています。本市では、約2年間にわたり、この点を意識して取り組んできた結果、児童生徒質問紙、学校質問紙ともに、「見通す・振り返る」学習活動に関して、子どもたち及び教職員の意識が高まっているという成果が見られました。そこで、引き続き、「見通す・振り返る」学習活動を重視し、各教科等において付けたい力を明確にして、児童生徒自身が授業のめあてやねらい、まとめをしっかりと意識できるような授業を展開していくことが大切であると考えます。さらに、その内容についても吟味し、付けたい力を児童生徒が確実に身に付けることができているかを見取り、児童生徒自身が自分の学びを実感できるような授業を展開していけるよう支援します。

言語活動の質の充実

「見通す・振り返る」学習活動と同様に、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と実感している児童生徒の平均正答率の方が、実感していない児童生徒よりも高いことが本調査から分かっています。話し合う等の言語活動においては、付けたい力やねらいを明確にし、考えを深めたり広げたりする発問や指導の内容を見直すことが求められます。児童生徒が自分の学びを実感できるよう、各教科等の指導において、指導計画の中に言語活動を適切に位置づけ、「思考力・判断力・表現力」を育む授業を展開していけるよう支援します。

教職員研修の充実

新採用の教員をはじめとした採用年数に応じた研修では、授業力向上を重点に、児童生徒の実態を踏まえた授業づくりの大切さについて学び、授業改善が図れるよう支援します。また、市内小中学校の教員の授業を参観し協議する研修、教員として身に付けておきたい技能を学ぶ研修、学校を会場として実技・講演・協議等を実施する研修を充実します。これらの研修において、教科の専門的な知識や技術について実践的な学びの充実を図り、教員の専門性を高めます。

研修・研究成果の還元のための工夫

研修や研究成果を、教育研究発表会や教育研究集録、教育情報誌等の刊行物として発信することで、より多くの教員に還元し授業力を高めます。

課題の改善に向けた教育委員会の取組について

2 不安や悩み、課題がある児童生徒へのサポート体制の充実

相談活動の充実

青少年教育カウンセラーによる相談活動の充実を図っていきます。その際、児童生徒にとって、よりよい学校生活となるよう児童生徒、保護者に寄り添った相談活動を進めてまいります。

また、児童生徒理解や教育相談にかかる内容の研修を教職員に対して、青少年教育カウンセラーが校内研修会等を実施します。

その他、相談指導教室の活動の充実を図っていきます。不登校児童生徒の集団適応力や基礎学力等の補充等のため内容を充実させるとともに、相談指導教室と学校との連携をさらに図ってまいります。